

地域の会第149回定例会 資料

平成27年11月4日
原子力規制委員会
原子力規制庁

資料1：前回定例会（10月7日）以降の原子力規制庁の動き

資料2：放射線モニタリング情報

資料3：委員ご質問への回答

前回定例会（10月7日）以降の原子力規制庁の動き

平成27年11月4日

柏崎刈羽原子力規制事務所

【原子力規制委員会】

- 10月7日 第32回定例会
- ・ 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の一部改正等について
- 10月9日 第33回臨時会議
- ・ IRRS レビューチームへの事前提出資料について
- 10月14日 第34回定例会
- ・ 新規制基準への適合性に係る許認可等の処分に対する異議申立てへの対応について
- 10月21日 第35回定例会
- ・ 保安規定違反の区分に係る判定の考え方について
- 10月28日 第37回定例会
- ・ IRRS（総合規制評価サービス）への提出資料について
- 11月4日 第39回定例会
- ・ 平成27年度第2四半期の保安検査の実施状況について
 - ・ 柏崎刈羽原子力発電所における設備工事に係る管理不備について

【柏崎刈羽原子力発電所 6、7号炉 審査状況】

- 10月7日 ・ 新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング
（柏崎刈羽6、7号機（201））
- 10月8日 ・ 第280回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合
（特定重大事故等対処施設について※非公開）
- ・ 新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング
（柏崎刈羽6、7号機（202））
- 10月9日 ・ 第281回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合
（敷地の地質・地質構造について）
- ・ 新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング
（柏崎刈羽6、7号機（203））
- 10月13日 ・ 第282回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合
（重大事故等対策について）
- ・ 地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（55）
- 10月14日 ・ 新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング

- (柏崎刈羽6、7号機(204))
- 10月15日
 - ・新規制基準適合性審査に関する審査会合への対応について
 - ・第283回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合
(重大事故等対策の有効性評価に係るシナリオ解析コードについて)
- 10月16日
 - ・第284回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合
(火山影響評価について)
 - ・新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング
(柏崎刈羽6、7号機(205)(206))
 - ・新規制基準適合性審査に関する審査会合への対応について
- 10月19日
 - ・地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(56)
 - ・新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング
(柏崎刈羽6、7号機(207)(208)(209))
- 10月21日
 - ・新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング
(柏崎刈羽6、7号機(210)(211))
- 10月21日
 - ・新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング
(柏崎刈羽6、7号機(213)(214))
- 10月22日
 - ・第285回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合
(重大事故等対策の有効性評価について)
- 10月23日
 - ・新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング
(柏崎刈羽6、7号機(215)(216))
 - ・新規制基準適合性審査に関する審査会合への対応について
- 10月27日
 - ・第287回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合
(確率論的リスク評価について)
- 10月29日
 - ・第288回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合
(大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他テロリズムへの対応について)

【被規制者等との面談】

- 10月7日
 - ・東京電力株式会社の保安規定変更認可等の申請について
 - ・柏崎刈羽原子力発電所の今後の溶接事業者検査実施計画について
- 10月13日
 - ・緊急時作業員被ばくの規制に係る原子力事業者との面談
- 10月16日
 - ・柏崎刈羽原子力発電所6号機中央制御室床下ケーブルピット内のケーブルの混在及び分離板の破損について
- 10月21日
 - ・東京電力株式会社の保安規定変更認可等の申請について
- 10月22日
 - ・柏崎刈羽原子力発電所6号機中央制御室床下ケーブルピット内のケーブルの混在及び分離板の破損について
- 10月26日
 - ・東京電力株式会社の保安規定変更認可等の申請について

- 10月27日 ・ 柏崎刈羽原子力発電所6号機中央制御室床下ケーブルピット内のケーブルの混在及び分離板の破損について

【規制法令及び通達により提出された文書】

- 10月 8日 ・ 柏崎刈羽原子力発電所の溶接安全管理審査申請書を受理
(原子力規制委員会は、10月8日に東京電力株式会社から核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の13第3項の規定に基づく柏崎刈羽原子力発電所の溶接安全管理審査申請書を受理しました。)
- ・ 原子力防災資機材現況届出書を受理
(原子力規制委員会は、10月5日に東京電力株式会社から同社柏崎刈羽原子力発電所の原子力防災資機材現況届出書を受理しました。)
- 10月14日 ・ 柏崎刈羽原子力発電所の溶接安全管理審査申請変更届出書を受理
(原子力規制委員会は、10月14日に東京電力株式会社から実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第39条第3項の規定に基づく柏崎刈羽原子力発電所の溶接安全管理審査申請変更届出書を受理しました。(申請の変更事由:協力事業者の決定による追記))
- 10月19日 ・ 柏崎刈羽原子力発電所の溶接安全管理審査申請書を受理
(原子力規制委員会は、10月16日に東京電力株式会社から核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の13第3項の規定に基づく柏崎刈羽原子力発電所の溶接安全管理審査申請書を受理しました。)
- 10月26日 ・ 柏崎刈羽原子力発電所の溶接安全管理審査申請書を受理
(原子力規制委員会は、平成27年10月26日に東京電力株式会社から核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の13第3項の規定に基づく柏崎刈羽原子力発電所の溶接安全管理審査申請書を受理しました。)

以上

放射線モニタリング情報

原子力規制委員会から発表された放射線モニタリング情報は、<http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/> に掲載されています。大部となっておりますので、HPにてご確認いただければと存じます。なお、直近の主な情報について以下のとおりご紹介します。

- ① 東京電力（株）福島第一原子力発電所の 20Km 以遠のモニタリング結果
[平成 27 年 10 月 30 日版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/en/contents/11000/10418/24/207_20151030.pdf
- ② 東京電力（株）福島第一原子力発電所の 20Km 以遠の積算線量の測定結果
[平成 27 年 11 月 2 日版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/en/contents/11000/10423/24/216_20151102.pdf
- ③ 東京電力（株）福島第一原子力発電所の 20 km圏内の空間線量率の測定結果
(平成 27 年 10 月 27～29 日測定) [平成 27 年 11 月 2 日版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/en/contents/11000/10422/24/206_20151102.pdf
- ④ 東京電力（株）福島第一原子力発電所近傍の海域モニタリング(海水)の結果
について(試料採取日：平成 27 年 10 月 26～31 日) [平成 27 年 11 月 2 日版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/en/contents/11000/10415/24/278_20151030.pdf
- ⑤ 各都道府県のモニタリングポスト近傍の地上 1m 高さの空間線量（平成 27 年 11 月 1 日測定分） [平成 27 年 11 月 2 日版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/en/contents/11000/10421/24/192_20151101_20151102.pdf

※ モニタリング情報については、直近のHP掲載情報を記載

平成27年11月4日
柏崎刈羽原子力規制事務所

委員ご質問への回答（第148回定例会、第156回運営委員会 受付分）

Q1. 先月の豪雨で、除染作業後の土などを詰めた袋が流出（一部は中身が流出）した件について、汚染の状況や再発防止対策について説明願いたい。

（回答）

（汚染の状況について）

○流出した土のう袋の内容物は、一部は除去土壌であるが、多くは最近刈られた草木等であって、全体的には線量の低いものが多数を占めるという状況に変化はないこと等から、環境への影響が生じる可能性は低いものと考えられる。

○土のう袋の流出があった河川の1つである真野川では、下流に位置する真野ダムにおいて、水道企業団による貯水の水質モニタリングが行われているが、事故後に放射性物質は検出されていない（検出限界1Bq/l）。

（再発防止策について）

○日頃の除染作業において、

- ① まず、各自治体のハザードマップ等に基づき、豪雨時の氾濫・浸水に注意すべきエリアを特定する。
- ② このエリアを除染し、土のう袋を一時置きする場合は、優先的に、仮置場等への移送、情報管理用のタグ付け及びデータベースへの登録を行う。
- ③ また、豪雨や出水が予想される場合は、氾濫・浸水注意エリアに置かれている袋について、高台等への移転又は固定等の措置を講ずることとする。
- ④ さらに、元請け受注者は、下請け業者から毎日、袋詰めした数等の報告を受けて集計し、除染現場に一時置きされている袋数を常時把握する。
を再発防止策として取り組んでいく。

○この再発防止策は、環境省直轄の除染等工事の全ての受注者に対し、本年9月17日付けで、福島環境再生事務所から伝達し、防災体制の確立を図ったところ。

Q 2. 福島第一 3号機におけるPCVベント後の放射性物質大量放出の可能性に関する原子力機構の推定結果が報道されたが、原子力規制庁としての対応について説明願いたい。

(回答)

今回のJAEAの研究について詳細は把握していないが、東京電力福島第一原子力発電所事故の継続的な分析は、原子力規制委員会の重要な所掌事務の一つである。そのため、原子力規制委員会では、中長期にわたり、技術的に解明すべき点について分析し、継続的な検討を実施するための検討会を設置し、議論を進めており、今後とも継続して実施することとしている。

Q 3. 平成27年度第2四半期における柏崎刈羽原子力発電所に対する保安検査で、保安規定違反の疑いのある事例が確認されているが、その後の対応状況について説明願いたい。

(回答)

現在事業者による調査が進行中であり、規制庁としてはその結果報告を受けて対応することとなる。